

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



▲ 講演中の今井教授。

尾張旭市立西中学校で
平成27年12月18日(金)5限
演題「増え続けるスマホ依存」の
生徒がわかる現代の諸問題」
講師 愛知産業大学 教授 今井 昌彦 氏

インターネットを一日四時間以上すると
小中学生の成績は下がる。文科科学省が
公表した全国学力・学習状況調査の分析結果で
その傾向が浮き彫りになった。スマートフォンや
携帯端末が普及し深刻なネット依存は社会
問題化しており、あらためて子どもとネットの関
わり方に一石を投じたのだ。

だらだらネット
成績ダウン



▲ 全校生徒760人が体育館で講演を聞く。



中学生は国語
数学の両問題と
も平均にイテネ
ットする時間を
「時間より少ない
」と答えた生徒の
平均正答率が最
も高かった。
ネットの利用時間
が長くなるにつれて
平均正答率が下
がり、一日四時間以
上の生徒の平均正
答率が最低とな
った。小学生も同様
である。
一方で、全くしな
い
と答えた中学生
は、「二時間
未満」の生徒は
先生も、
長通切を利用な
校ら、学力と勤
勉を
確認する。

今井教授「子ども
たちが無目的で
だらだらとネットを
続けることのないよ
う家庭や学校で
時間を制限する
指導が必要だ」と
話した。
子のスマホ
「不安」71%
警察庁はスマホは
インターネットへのア
クセスが容易な
犯罪に巻き込まれ
ないよう啓発する
必要があるとして



▲ 生徒を横がらす。スクリーンに胸を見やすすり、感謝の言葉(生徒代表から)にエモ。

